

闘え!商大

SHODAI SPORTS 商大スポーツ

2015プロ野球ドラフト会議を見守る会
10月22日 大阪商業大学ラビックホール

プロへ羽ばたく 三羽鳥

大阪商業大学
Osaka University of Commerce

ドラフト2 吉持 楽天入団

ドラフト1 岡田 広島入団



硬式野球部
3年連続でのプロ野球選手誕生に大商大が沸いた。今年度は現役・OB合わせて3人がドラフト上位指名された。1位に岡田明丈投手、2位に吉持亮汰内野手とOB・近藤大亮投手だ。大商大からのドラフト1位指名は、OB・齊藤明雄氏、OB・柳原隆弘氏以来、38年ぶり3人目の快挙となった。



ドラフト2 近藤

大学のときからプロを目指していたので、地元の球団に入れてうれしい。1軍に定着して活躍したい。

OB・近藤大亮投手は、浪速高校から2010年、大商大に入学。1年次から関西六大学秋季リーグ戦に登板結果を残し平古場賞を受賞した。2013年、秋季リーグ戦では最優秀投手賞に選ばれ優勝に大きく貢献した。さらに関西地区大学選手権では史上初のノーヒット

オリックス入団



OB 谷選手引退

OB・谷佳知選手(1994年度卒)は、大商大在学中、関西六大学リーグ三冠王を達成。最優秀選手にも選ばれ、ベストナインも3度受賞した。卒業後は三菱自動車岡崎を経て、1996年にオリックス・ブルーウェーブにドラフト2位で入団すると、盗塁王、リーグ最多安打、ベストナイン、ゴールドン(商2年・長尾谷高)文、森山佳祐(経営4年・興國高)が成長した点を、岡田は制球力、吉持は守備力と「技術面」の向上を挙げたが、二人が共に口にしたのは「精神面」を鍛えられたことだと言った。春に全日本大学選手権で8強になるも日本一は遠かった。後輩には自分たちが成し遂げられなかった日本一を目標にしっかりと頑張ってもらいたい(吉持)。「個々の意識改革が必要。特に投手陣はマウンド上では一人だから、一人一人が力を付けなければならない」と(岡田)と後輩の成長に悲願の日本一を託した。



ドラフト会議
岡田明丈(経済4年・大商大高)がドラフト上位指名候補に挙がるようになったのは、4年次になってからだ。今年度から制球力が安定し、力強い直球で関西六大学リーグ戦では負けなしの12勝を挙げ、最優秀投手賞に2季連続で選ばれた。一方、吉持亮汰(経済4年・広陵高)は、1年次から出場し、2年次には明治神宮大会にも出場。4年の春には首位打者に輝き、盗塁数もリーグ通算62と、その俊足と強肩が早くからスカウトに注目されていた。

10月、岡田と吉持はチームメイトが見守る中、一緒に運命の瞬間を迎えた。岡田は広島東洋カープから単独1位指名、そして、吉持は東北楽天ゴールデンイーグルスから2位指名を受けた。お互いの運命の瞬間をこう振り返った。

「岡田の1位指名はすごい。4年間一緒にプレーできたことを誇りに思う(吉持)。「吉持が選ばれてとにかく嬉しかった。同じプロの世界でプレーできるのがうれし(岡田)」。

12月、入団が決まり、プロへの挑戦が始まった。背番号は岡田「17番」、吉持「2番」。岡田は「チームを代表するだけでなく、日本を代表する投手になりたい。新人王を獲得したい。新人王を獲得、吉持は「自分の足で勝負して盗塁王を狙う。長い間活躍できる選手になりたい」と抱負を語った。

現在、1軍にはOBで活躍する選手がたくさんいる。中日ドラゴンズの桂依央利捕手(2013年度卒)と金子丈投手(2014年度卒)は、一緒にプレーした仲だ。同じセリーグになった岡田は「自分が成長したところを見せられたら」と先輩との対戦を楽しみにしている。さらに楽天イーグルスには、福山博之投手(2010年度卒)がいる。同じチームになった吉持にとって心強く近くで学べることも多いだろう。

託す日本一
大学野球生活で自身

が成長した点を、岡田は制球力、吉持は守備力と「技術面」の向上を挙げたが、二人が共に口にしたのは「精神面」を鍛えられたことだと言った。春に全日本大学選手権で8強になるも日本一は遠かった。後輩には自分たちが成し遂げられなかった日本一を目標にしっかりと頑張ってもらいたい(吉持)。「個々の意識改革が必要。特に投手陣はマウンド上では一人だから、一人一人が力を付けなければならない」と(岡田)と後輩の成長に悲願の日本一を託した。

第16号

1面	硬式野球部
2面	ウエイトリフティング部 空手道部
3面	ボクシング部 合気道部 柔道部 ライフル射撃部
4面	硬式野球部 準硬式野球部

※文中人名後の()内は、所属学年・出身高校



完全優勝で32年ぶりV2

硬式野球部

春季リーグ戦完全優勝を果たした大商大。主将の新谷承基(経済4年・福知山成美高)は「連覇に向けて気持ちを切り替えないようにするのが難しかった」と振り返った。

関西六大学野球秋季リーグ戦、まず大阪学院大学との第1戦は、エースの岡田明丈(経済4年・大商大高)が安定したピッチングで完封勝利を挙げ、第2戦もしっかりと勝利し、勝ち点1をつかんだ。

第2節が無く、1週間空いて迎えた第3節、京都府立総合運動場野球場で迎えた10月8日、延期

都産大大学戦。9月14日、最大のライバルとの第1戦は乱打戦となった。大商大は1回表に先制したものの、3回裏に追い付かれる。しかし、ここから打つことしか考えていなかったという新谷の1打で5回表に勝ち越したが、8回裏にはまたもや追い付かれてしまう。その後は動きがなく、13回からタイブレークに突入した。タイブレークでは先頭打者・一番吉持亮汰(経済4年・広陵高)がレフトへの犠飛を放ち1点、さらに適時打で1点を追加した。裏の守備では岡田から継投した小屋

裕(公営3年・神戸国際大)に所属する。この試合は岡田が3回表に1失点してしまうも、7回まで抑えられていた大商大は春季王者の意地を見せ、日下部光(経営2年・福知山成美高)と坂田一平(公営2年・広陵高)の適時打で逆転勝ちし、見事優勝を決めた。

その後大阪経済大学にも勝利し、春に続く勝ち点5の完全優勝で32年ぶりの連覇を成し遂げた。

文/江見拓人 (経営4年・興國高)
文/太田陸生 (経済1年・高松東高)

関西六大学野球秋季リーグ戦 8月29日~10月19日 わかさスタジアム京都他 <10勝3敗>

「阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦」優勝(2季連続65回目)	
最優秀選手	白川 拳斗(公営3年・立正大湘南高)
最多勝利投手	越智 俊貴(商3年・西条高)
盗塁王	坂本 諒太(商2年・倉敷商業高)
ベストナイン(投手)	越智 俊貴(商3年・西条高)
ベストナイン(一塁手)	岸 尚輝(経営3年・金沢学院東高)
ベストナイン(三塁手)	白川 拳斗(公営3年・立正大湘南高)

「秋季関西地区大学準硬式野球選手権大会」1回戦敗退	
---------------------------	--

「第24回関西地区大学六リーグ対抗準硬式野球大会」1勝3敗1分	
阪神六大学準硬式野球連盟選抜メンバー	
(投手)	越智 俊貴(商3年・西条高)
(一塁手)	岸 尚輝(経営3年・金沢学院東高)
(二塁手)	森 太一(商3年・京都国際高)
(三塁手)	白川 拳斗(公営3年・立正大湘南高)
(遊撃手)	坂本 諒太(商2年・倉敷商業高)

「第7回日台大学親善準硬式野球大会」2勝1敗1分	
全関西選抜チーム台湾選抜メンバー	
(投手)	越智 俊貴(商3年・西条高)

進硬式野球部

阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦、大商大は最終戦で大阪府立大学に勝利し、悲願の春秋連覇、そしてチームと連盟の最多優勝記録を65回に伸ばした。

「春季のメンバーが多くなったので、チームとしての形はそのままに力の底上げをした」と主将の吉川蒼(経済3年・福井商業高)。「その新主将が優勝の立役者と称賛されている。私も絶賛している。」

大商大はその後、各連盟優勝校が出場する秋季関西地区大学準硬式野球大会に出場したが、初戦で前年度準優勝の龍谷大学に1-2と惜敗し、今シーズンを終えた。

3連覇がかかる春に向けて吉川は「優勝はもちろんで、全国大会出場が目標。上に行くためには大事な場面でのミスを減らしたい。オフシーズンの間に基礎から見直したい」と力強く語った。同時に前主将の福家雅陸(経営2年・明石南高)が再びやってくる。文/大村直之

春 連 秋 覇!!

硬式・準硬式ともに

リーグ戦

「関西六大学野球秋季リーグ戦」優勝(2季連続9回目)	
最優秀選手賞	新谷 承基(経済4年・福知山成美高)
最優秀投手賞	岡田 明丈(経済4年・大商大高)
首位打者	黒田 祐成(公営3年・大垣日本大高)
ベストナイン(投手)	岡田 明丈(経済4年・大商大高)
ベストナイン(捕手)	太田 光(公営1年・広陵高)
ベストナイン(一塁手)	山崎 幸征(経済3年・汎愛高)
ベストナイン(遊撃手)	吉持 亮汰(経済4年・広陵高)
ベストナイン(外野手)	新谷 承基(経済4年・福知山成美高)
ベストナイン(外野手)	黒田 祐成(公営3年・大垣日本大高)
ベストナイン(外野手)	滝野 要(公営1年・大垣日本大高)
平古場賞(新人賞)	滝野 要(公営1年・大垣日本大高)

「第13回関西地区大学野球選手権大会 兼第46回明治神宮野球大会関西地区第1・2代表決定戦」敗者復活2回戦敗退	
---	--

「関西六大学野球秋季新人戦」優勝	
最優秀選手賞	井上 和哉(経済1年・松山商業高)

阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦 8月25日~10月18日 大阪工業大学校方キャンパス野球場他 <9勝3敗0分>

優勝記録更新V65

我楽多

▼体育会本部広報部長に就任しました。これまでさまざまなクラブの応援に行きましたが、強いクラブはどこも礼儀正しいと思いました。そんなクラブたちを撮影するときに、いい写真を撮ろうと意識しなくてよかった。撮れることに気がつき、写真を撮るのがさらに楽しくなりました。もともと、いろんな表情を写真に収めていきたいです。(井戸垣)

▼今号を区切りしに広報部長を代理わりし、新部長に比べて、新部長との連携が取れたので、私自身すごく余裕を持って書くことができました。今号は1年生にも少し関わってもらいました。次号では1年生の活躍に期待したいです。2年生には良い意味で1年生を巻き込んでほしいと思います。そして、商大スポーツを通して、より多くのクラブ生と関わっていきたくて思いました。(高本)

▼今号が最後の商大スポーツ作成になりました。2年生で初めて記事を書いたときは、文章を全く書けず、納得のいく物を作ることができませんでした。回を追うごとに書けるようになりました。1面を担当した号はレイアウトを考えるのが大変でしたが、苦勞以上の物を得ることができました。この経験で学んだことをこれから生かしていきたいです。後輩にはさらに素晴らしい物を作ってもらいたいです。(江見)

商大スポーツ

発行編集 大阪商業大学 学生生活課 課外活動支援室(スポーツセンター)

印刷 日本ビジネスアート株式会社

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校